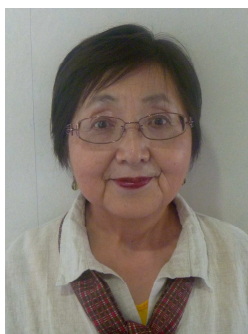


## 児嶋きよみさんのプロフィール 認定No.11

(オフィス・コン・ジュント代表)

私は、まずもって、Office Com Junto(オフィス・コン・ジュント)という素敵な団体名に惹かれました。Com Junto はポルトガル語で、英語の with together(〜と共に)という意味らしい。この団体の代表が児嶋さん。何となく同じにおいがするなぁと個人的に感じていました。その主な活動は「グローバルセッション(GS)」と「ひまわり教室」。1999年亀岡市国際センター(現・市交流会館)での英会話講座の一環で行われたGSを途中から引き継ぎ、この5月でナント309回目を数えます。毎月、国内外の、120人の会員に案内を送り、ゲストスピーカーと参加者は、原則共通言語である英語でテーマに沿ってディスカッション。GSは、参加者の“自主的な”対話を促すために、「当てない」「黙っていてもOK」「どこから入ってもいい」というのがルール。今ではゲストスピーカーの自国の紹介の場から、居場所や友達づくりの場にもなっているようです。また、GSの運営を通して実感した、日本に住む多様な人々との共生の大切さから、亀岡市内で外国にルーツをもつ子どもと保護者の学習支援をする「ひまわり教室」を2014年から開始。例えば、母親が外国人で日本語を話せても読み書きができない場合が多く、子どもが学校からプリントをもらってきても理解できず、そのようなことが度重なることで彼らが地域で生きにくくなっている現実に一石を投じる取組みです。このことに共感を得たボランティアの指導者が今では25人。毎月3回の教室では、基本マンツーマンで対応し、その回ごとに、指導者から提出されたレポートを共有するための編集作業も児嶋さんの大切な仕事。定期的に小学校や中学校の校長会にも顔を出し理解を求め続けているという。その成果の一つとして、学校のプリントに「ふりがな」をつける学校が増えてきたらしい。まだまだ課題は多く本来は学校の問題と、言いつつも出来ることを軽やかにやってのける姿勢に感動を覚えます。彼女の口癖である、「頑張らない」「やりたいことしかやらない」から、続けられるのでしょう。彼女は、福井県丹生郡織田町の生まれ、織田信長ゆかりの地らしい。亀岡に住んで44年になるそうですが、明智光秀ゆかりのまちに居を構えているのも何とも奇妙な縁。何はともあれ、彼女の「まめさ」は半端ではなく、今後もその活躍ぶりに目が離せそうにありません。



2018. 5. 25 松尾 清嗣